

顧客満足の上と 製品の品質・安全

製品・サービスの品質保証

品質方針

当社は、お客さまが品質保証活動で使用される環境試験器を提供しており、エスペック製品のクオリティがそのままお客さまの製品のクオリティに直結していること、また、その重責を担っていることに、私たちの存在意義があると考えています。私たちは「お客さまへ安全、快適、確実に使命を果たす、より確かな製品とサービスの提供を行う」を基本理念として掲げ、グローバルカスタマーの期待に応える高品質製品の実現に向けて取り組んでいます。

品質保証体制

国内外においてEQA (ESPEC QUALITY ASSURANCE)と呼ばれる独自の品質保証体制を確立し、活動を行っています。また、1993年に国内他社に先駆けて品質マネジメントの国際規格「ISO9001」の審査・登録を行いました。その後2015年のISO改正についても移行を完了して認証継続するとともに、品質保証体制の継続的改善を実施しています。2022年度は、業務プロセスのレベル向上を目指した品質保証活動を展開し、製品とサービスの品質向上に取り組みました。

QMC活動

当社では、生産現場を中心としたQCサークル活動を、日常業務の中から顧客満足の上と付加価値創造の実現を目指す全社員参加型の「小集団改善活動」へと転換し、QMC (QUALITY MANAGEMENT CIRCLE) 活動として実施しています。2022年度は、70サークルがさまざまなテーマで改善活動に取り組み、品質改善やコスト削減、業務効率の向上など高い成果を上げるとともに人材育成にも貢献しました。

お客さま満足の上に向けて

安心・安全につながる

アフターサービス体制「4つの約束」

1. 迅速な対応

24時間365日フルタイムで技術サポート

2. 予防保全メニュー

装置を長く安心してお使いいただくために豊富な予防保全メニューをご用意

3. 長期のメンテナンス体制

メンテナンス部品の保有期間は最長15年

4. 安全対策のご提案

地震等の発生時に被害を最小限にする周辺機器をご提案

保守契約サービスにネットワーク機能を標準化

2023年9月より、保守契約サービスのメニューにモバイル端末・クラウドネットワーク機能を標準化しました。ネットワーク機能により、装置から離れたオフィスや自宅からでも装置の運転状態を確認することができます。装置の異常発生時にはお客さまにメールでお知らせするとともに、当社も同時に異常を検知し、遠隔診断などにより装置の早期復旧をサポートします。SIMを搭載したモバイル通信端末を貸し出すことでお客さまの社内ネットワークへの接続やLAN設備工事などを不要としました。装置管理業務のDX化の推進や、装置を安心してお使いいただくための予防保全対応(年1回の点検、摩耗部品の交換)、修繕費の定額化によって、お客さまの装置管理業務の「面倒くさい」を解決します。

事業所の装置をトータルにサポート

「事業所まるごとメンテナンス」

装置の保守メンテナンスにとどまらず、装置・周辺機器の設置、広域認定制度による製品リサイクル、フロン回収など、お客さまの事業所に設置されている環境試験器の設置から廃棄までをトータルにサポートする「事業所まるごとメンテナンス」を提供しています。お客さまの装置管理における負担軽減や保全・運用コストの最適化に貢献します。

アフターサービス認定制度

当社では高度な専門技術力を持つサービスエンジニアの育成に向け、世界共通の評価基準に基づいたアフターサービス認定制度を導入しています。エスペックのサービスエンジニアに限らず、代理店、協力会社のサービスエンジニアも対象に、技能力、技術力、公的資格の取得により3段階の認定資格を付与し、サービスレベルの平準化と向上を図っています。

カスタマーサポートデスク

カスタマーサポートデスクでは、製品の購入前から製品廃棄に至る全てのシーンにおいてワンストップで問題解決できる体制を整え、お客さまのお問い合わせにダイレクトにお応えしています。また、お客さまへの対応品質の向上を図るため、適切な電話対応や製品知識に関する社内教育を定期的実施しています。

世界初「全天候型試験ラボ」

神戸R&Dセンターに地球上のさまざまな気象環境を再現できる世界初の施設「全天候型試験ラボ」を設置しています。全天候（温度、湿度、雪、霧、雨、光、風）に加え、みぞれから雪への変化など刻々と移り変わる気象環境を創り出すことができます。本施設は社外にも公開し、オープンイノベーションを促進しています。



全天候型試験ラボ（降雪試験）

技術者向け情報サイト「Test Navi」

技術者のための信頼性技術の専門情報サイト「Test Navi」を開設しています。環境試験のノウハウや信頼性試験の基礎から最新の試験動向まで、お客さまに役立つ情報をタイムリーにお届けしています。また、無料のメールマガジン「Test Navi 通信」では、技術レポートや製品・サービス紹介などを定期的にお届けしています。2023年3月末現在における会員登録者数は、23,076名となりました。

「xEV テスティング・イニシアティブ」で協賛講演を実施

2022年9月、電動車の品質・安全・信頼性に関する国内初のビジネスカンファレンス「xEV テスティング・イニシアティブ」において、協賛講演を行いました。本カンファレンスは、当社上席顧問の佐藤登（名古屋大学 未来社会創造機構 客員教授）が副委員長を務める「xEV テスティング技術を考えるステアリングコミッティ」が主催するものです。協賛講演では、当社の社員が、豊富な受託試験実績により培った試験技術と知見をもとに、xEV（電動車）の進化に伴う試験方法の変化と課題について講演を行いました。

オンライン展示会「CAR ELECTRONICS Expo」を開設

2022年3月、オンライン展示会「CAR ELECTRONICS Expo」を開設しました。自動車先端分野の各工程で使用される当社製品や試験事例などをご紹介します。また、地球上のさまざまな気象環境を再現する「全天候型試験ラボ」をバーチャル見学できるコーナーも設置しています。



<https://www.espec.co.jp/products/car-electronics-webexpo/>

バーチャル福知山工場見学サイトの開設

2023年3月、当社の福知山工場をWeb上で見学できるバーチャル福知山工場見学サイトを開設しました。製造現場や各工程の動画などを臨場感あふれるVR（Virtual Reality）でご覧いただけます。



バーチャル福知山工場見学サイト

エスペック信頼性セミナー

信頼性試験における有益な情報をお客さまに提供する活動として、信頼性セミナーを開催しています。

2022年度は昨年に引き続き、オンライン形式で開催し、約250名のお客さまに参加登録いただきました。

人材マネジメント

人権の尊重

基本的な考え方

当社の企業理念THE ESPEC MINDの「宣言」において、人権の尊重を表明しています。また、エスぺックに所属する全ての役員・社員に適用する「エスぺック行動憲章・行動規範」においても「基本的人権を尊重し、社内外において、性別、年齢、国籍、人種、民族、肌の色、宗教、信条、社会的地位、婚姻の有無、性的指向や性自認、病歴、ウイルス等への感染の有無、障がい等による差別的取り扱い、言動は一切行わない」旨を定め、毎年の社内教育を通じて周知徹底を図っています。

ハラスメントの防止

セクハラやその他の差別待遇、いやがらせ行為などに関する連絡・相談窓口を設置しています。2020年度には「ハラスメント防止規定」を制定しました。また、ハラスメントの未然防止に向けて継続的な社内啓発を行っており、2022年度は管理職などを対象としたハラスメント防止研修を実施しました。

■主な人事制度（単体）

コース選択制度 (勤務地限定選択制度)	異動を限定的にすることを望む社員に対し、勤務地限定の選択肢を付与する制度です
スーパーフレックスタイム制度	コアタイムを無くし、1日の労働時間を業務に合わせて調整できる制度です
在宅勤務制度	自宅等で勤務することが可能です。自宅で作業可能な業務を担当している全ての社員が対象です
短時間勤務制度	育児や介護で勤務が難しい場合に勤務時間を短縮できます。子どもが小学校3年生を修了するまで利用が可能です
社内表彰制度	特許・実用新案の取得や行政・加入団体からの表彰など、精励・功労の著しい社員を表彰します

■主な教育施策（単体）

グローバル・トレーニー・プログラム (海外研修制度)	国際的に活躍できる中核的人材の育成を目的とした海外研修制度です。社員を海外グループ会社に一定期間派遣し、現地での実務体験を通してグローバルな考え方や幅広い見識を身に付けます
エグゼクティブ育成制度	グローバルに活躍する経営幹部の育成を目的としてMBA(経営学修士)や大学等の卒業資格の取得、リスクリングのためのツール提供など、経営幹部として求められる能力や見識を備えるための支援を行っています
リカレント教育	オンデマンド動画学習サービスの導入や自己啓発講座の実施、奨学金支給制度(外国語学習支援、通信教育、推奨資格)など、社員が「伸ばしたい能力」に合わせた教育支援を行っています
メンター制度	先輩社員が育成対象となる社員と定期的に面談を行い、疑問点や悩みなどを聞いてサポートします
女性リーダー育成研修	選抜された女性社員がリーダーになるための心構えやスキルを学びます
ラウンドアップ研修会	より良い企業文化を形成するため、社員一人ひとりが企業理念への理解を深め、共有、実践していくための教育プログラムです

人材の開発・育成

基本的な考え方

会社の盛衰は「人」で決まります。会社にとって「人」が中心であり「人」重視の経営こそが会社発展の原動力です。「社員が主役の会社でありたい」というのが基本的な考え方です。また、高いモチベーションと品格を兼ね備え、チャレンジ精神に富む良質な人材の開発・育成に取り組むことで「社員能力・活力の最大化」を目指しています。

組織開発・人材開発戦略

中期経営計画「プログレッシブ プラン2025」の組織開発・人材開発戦略では、2022年度より「組織・制度改革プロジェクト」を設置し、新しい評価システムやコミュニケーション手法を取り入れ、マネジメントスタイルの変革に取り組んでいます。また、社員のスキルアップや学び直しの機会を提供し、社員一人ひとりが自律的に行動し成長できる組織改革を推進しています。

1 on 1ミーティング

「オープンで活発なコミュニケーション」の実現に向け、カジュアルな空気感のある職場、自分の想いや考えを安心して発言できる職場づくりに取り組んでいます。2023年4月からは全社員を対象に、上司と部下が1対1で定期的な対話を行う「1 on 1ミーティング」を実施しています。実施にあたっては、管理職向け研修や社員向け説明会を実施するなど、社内の理解浸透に取り組んでいます。

360°サーベイおよび人材アセスメントの実施

2021年度より新任管理職などを対象に、本人・上司・部下・同僚による多面的な評価を行う「360°サーベイ」と、人材アセスメントを毎年実施しています。2022年12月には、これらの結果を自己のパフォーマンスの向上や、より良いマネジメントに活かすことを目的にフィードバックワークショップを実施しました。

オンデマンド動画学習サービスの導入

2022年度、6,200以上の学習コンテンツの中から、社員が自由に動画を視聴できるオンデマンド動画学習サービスを導入しました。社内SNSやメールマガジンでおすすめ講座などを定期発信するほか、希望する社員と一緒に同じ講座を視聴するオンライン授業会を開催するなど、社員の自律的な学びを支援しています。

ジュニアボードの設置

2023年3月、次世代経営人材の育成や社員から経営層への提言、部門や組織を越えた人材交流を目的として、30代～40代前半の社員で構成するジュニアボードを設置しました。メンバーは約1年半のプログラムを通じて、経営に必要な知識を学ぶほか、会社の視点と社員の視点の両面から、将来のエスプレックのありたい姿について議論を行い、役員に提言する予定です。

キャリア形成支援プログラムの実施

社員の自律的・主体的なキャリア形成を支援するプログラムを実施しています。2023年8月には、全社員を対象としたキャリア形成・ガイダンスセミナーを開催しました。また、2023年度は希望者を対象に外部キャリアコンサルタントによるキャリア面談も実施しています。

ダイバーシティ&インクルージョン

女性の活躍推進

意欲や能力のある社員が働きやすく活躍できる組織づくりに力を入れています。2013年度より女性リーダー育成研修を実施し、これまでに30名が受講しています。受講生の中から管理職として昇進した社員も出てきており、2023年4月1日現在の女性管理職比率は7.0%（うち部長職以上の女性管理職比率9.4%）です。また、新卒採用における女性新卒採用比率は40.0%となっています。

■ 2025年度目標

- 女性管理職比率：10%以上
- 女性新卒採用率：30%以上

▶ P14 非財務データ（女性管理職比率・定期採用での女性比率）

● 育児中でも働きやすい職場環境づくり

短時間勤務は子どもが小学3年生を修了するまで利用可能です。また、在宅勤務制度やスーパーフレックス制度など、育児中でも働きやすい職場環境づくりに取り組んでいます。2022年度の育児休業取得率は男性13.3%、女性100%です。

■ 2025年度目標

- 育児休業取得率：男性 7%以上、女性 100%

▶ P14 非財務データ（育児休業取得率）

● 社外からの評価（認証）



シニア社員の活躍推進

2022年4月、シニア正社員（限定正社員）制度を導入しました。1年契約更新の嘱託社員制を廃止し、60歳から65歳まで継続雇用するとともに、本人の希望によって勤務形態を選択することができます。

人材マネジメント

外国籍社員の雇用

外国籍の社員が12名勤務しています(2023年3月末現在)。また、2023年4月1日入社 of 外国人定期採用者は3名で、外国人採用比率は15.0%です。今後も外国籍社員の採用に積極的に取り組んでいきます。

障がい者の雇用

障がいのある方が16名勤務しており、障がい者雇用率は2.5%です(2023年3月末現在)。また、2021年度より障がい者就労農園「エスペックスマイルファーム」を運営しています。ここでは障がいのあるスタッフ3名と農場の管理業務を行う職員1名の計4名が野菜の栽培業務を行っています。

▶ P14 非財務データ(障がい者雇用率)

快適な職場環境づくり

社員の健康と安全の確保

● 安全衛生活動

安全衛生委員会を設置し、委員による安全パトロールを行うなど、労働災害の撲滅、労働環境の改善に努めています。また、交通事故防止の対策としては、安全運転適性検査の実施や安全運転講習会による啓発活動に取り組んでいます。2022年度の労働災害件数(不労災害を除く)は0件、労働災害度数率*は0です。

* 休業災害被災者数/延べ労働時間数×100万時間

▶ P14 非財務データ(労働災害件数・労働災害度数率)

● メンタルヘルスケアの推進

心の健康問題への対策として、社員とその家族を対象としたメンタルヘルスケア制度を導入しています。自己の状況を確認できるストレス診断の実施や、電話やWeb、対面による相談窓口の設置などを行っています。また、毎年、全社員を対象としたメンタルヘルス・ストレスチェックを実施しています。2022年度は管理職を対象に、ストレスチェック組織診断結果のフィードバック研修を実施しました。

社員とのコミュニケーション

社長メッセージ

社内サイトに、社長メッセージを定期掲載しています。社長の考えや経営戦略の進捗などについて全社員にタイムリーに伝えています。また、社員が仕事上の悩みや課題を直接社長に相談できる「明るい仕事相談室」を設置するなど、社長と社員の双方向のコミュニケーションを推進するとともに、価値観の共有を図っています。

社内報「プログレッシブ」の発行

全社員への企業理念の理解深研や共有、事業活動の情報共有を目的とした社内報「プログレッシブ」を定期的に発行しています。2022年度は4回発行しました。



ラウンドアップ研修会の実施

社員一人ひとりが企業理念の理解を深め、より良い企業文化を形成するため、全社員を対象としたラウンドアップ研修会を実施しています。管理職や一般社員といった各層のプログラムに加え、世代を超えた人材を集めたプログラムを毎年実施しています。2022年度は全社員を対象に実施し、856名が受講しました。

ダイレクトコミュニケーション

役員と社員が対話を行う「ダイレクトコミュニケーション」を定期的に実施しています。社長をはじめとする全役員が社員から直接、企業理念に対する自身の考えや、業務上の課題、会社への要望などを聞き、意見交換を行っています。2022年度は、計19回実施し、778名が参加しました。実施後の参加者アンケートでは、約9割が「非常に良かった」「良かった」と回答したほか、「また実施してほしい」との声が多く寄せられました。

サプライチェーン マネジメント

取引先さまとの より良い関係を目指して

基本方針

当社は取引先さまと良好なパートナーシップを構築し、相互発展できる関係づくりを重視しています。取引においては、関係法令・法規を遵守し、公正・公平な取引関係のもと、グローバルな観点で国内外から必要な資材・サービスなどを適切な品質・価格・納期・環境への配慮などを総合的に判断し調達していきます。

法令の理解・遵守のために

資材調達においては「下請代金支払遅延等防止法（下請代金法）」遵守の徹底を目的として、社内教育をはじめ、さまざまな取り組みを行っています。2022年度は、資材調達を行う部門への定期的な自主監査を継続実施し、懸案事項への必要な措置を講じることで、違反行為の未然防止に取り組みました。また、新たな下請法教育資料を作成するとともに、理解度をチェックする仕組みを構築しました。購買担当者だけでなく、取引先さまと関係のある部門責任者や担当者、国内関係会社の担当者にも教育を実施し、478名が受講しました。

事業継続マネジメント

自然災害や取引先さまの倒産など不測の事態が生じた場合、お客さまへの影響を最小限に抑えるため、資産である金型の現物確認や取引先さまの経営状況などの確認を定期的実施しています。また、当社が策定した「災害確認基準」と「初期対応方法」に基づく実践活動を実施しています。2022年度は、自然災害の発生場所で稼働する取引先さまを迅速に把握できるシステムを新たに構築しました。

サプライヤー評価の実施

サプライヤー評価では、QCDESM（Q：品質、C：コスト、D：納期、E：環境、S：サービス、M：経営）だけでなく、コンプライアンスやBCP（事業継続計画）の取り組みについても評価を行っています。2022年度は主要取引先さま185社に対してコンプライアンス・リスク管理状況の書面評価を実施し、必要に応じて現場訪問を行うことでリスク低減に努めました。

「エスペック共栄会」の運営

1981年より取引先さまとの相互信頼の構築、および共存共栄を目的とした「エスペック共栄会」を組織しており、37社の取引先さまに参画いただいています。（2023年3月末現在）

2022年度は、品質向上を目的としたQCサークル活動の活性化に継続して取り組みました。また、多大なご協力をいただいた取引先さまに対して、感謝の意を表す「エスペック優秀取引先表彰制度」を導入しています。2022年度は、社長賞1社・優秀賞1社・特別賞2社の取引先さまを表彰しました。

グリーン調達の実施

資材調達先に対するグリーン調達においては、ISO14001認証取得をはじめとした環境マネジメントシステムの構築を条件に、環境負荷低減や環境関連法の遵守など環境管理活動を評価する指針として「エスペックグリーン調達基準書」を制定しています。

2022年度は、グリーン調達認定取引先の拡大を目的に、取引先さまへの現場指導に継続して取り組みました。その結果、購入部品点数の96%を占める計122社の取引先さまが認定基準を満たすことができました。

CO₂排出量削減に関する取引先向け勉強会を開催

2022年度はサプライチェーン全体でのCO₂排出量の削減に向け、共栄会会員企業を対象とした勉強会を2回開催しました。勉強会では、CO₂排出量削減に取り組む意義・目的の整理や、事業との関係、具体的な実践方法などについて学びました。



取引先向け勉強会

適切な情報開示・ コミュニケーション

株主・投資家さまとの コミュニケーション

情報開示の方針・体制

会社法、金融商品取引法等関係法令、証券取引所の定める適時開示規則などに従い、情報開示を行っています。また、同規則に該当しない情報についても、私たちを理解していただくうえで役立つ情報は、積極的かつ公平に開示していきます。社内体制としては、開示情報を審議する機関として、情報開示委員会を設置しています。なお、IRポリシーを策定し当社Webサイトに掲載しています。

開かれた株主総会に向けて

● 株主総会日程と招集通知

株主総会を株主さまと直接対話のできる貴重な機会であると考え、より多くの株主さまにご参加いただけるよう集中日を避けて開催しています。招集通知については早期発送に努めており、法定期日の1週間前に送付しています。また、法定期日の2週間前には東京証券取引所および当社Webサイトに掲載し、英訳版(要約)も開示しています。また、第69回招集通知にてカラー化を実施し、読みやすさの向上を図っています。なお、会社法改正により株主総会資料の電子提供制度が開始されましたが、第70回株主総会は書面交付請求の有無に関わらず従来どおり書面でお送りしました。

● 議決権行使

郵送やインターネットでの行使も可能にしており、スマートフォンで二次元コードを読み取ることで容易に行役できる「スマート行使」も利用できます。また「議決権電子行使プラットフォーム」を導入しており機関投資家の行使環境の改善にも取り組んでいます。

● 第70回定時株主総会

第67回定時株主総会より、感染予防の観点から開催時間を短縮して開催していましたが、第70回は従来どおりの開催とし、67名の株主さまにご出席いただきました。

機関投資家・証券アナリスト向け決算説明会

機関投資家・証券アナリストの方を対象とした決算説明会を年に2回実施しています。説明会には社長や役員が出席し、業績や戦略などについて説明しています。2022年度は、社長による決算説明動画・資料を当社Webサイトに掲載しました。また、フェアディスクロージャーの観点から新たに解説文付き決算説明資料(英訳版含む)を掲載しました。個別ミーティングは社長や役員が出席し、東京・大阪を中心に随時実施しています。2022年度は主にWeb会議を活用するとともに、初めて証券会社主催のsmallミーティングを行い、年間115社とミーティングを実施しました。また、ミーティングでの主な質問と回答を半期ごとにWebサイトに掲載しています。



2022年度 決算説明動画

個人投資家向け会社説明会

2023年3月、日本証券新聞社主催の個人投資家向け会社説明会を大阪で実施しました。約230名の方にご参加いただき、社長より当社の事業内容や強みについて説明しました。



会社説明会(大阪朝日生命館)

IRツールの充実

● 株主通信

年2回発行している株主通信では、株主さまにエスペックについてよりご理解を深めていただくため、当社のさまざまな取り組みを紹介しています。2022年度は特集記事として、業績や中期経営計画に関する社長インタビューを掲載しました。

● IR資料

四半期ごとに決算説明資料を作成し、Webサイトに掲載しています。参考資料として事業概要やサステナビリティの取り組みも紹介しています。また、ファクトブック(財務・株式データ集)に加え、ESGデータ集を新たに掲載し、非財務情報の充実にも取り組んでいます。

● IRサイト(PC版・スマホ版)

投資家のみなさまに有用な情報の発信に努めています。2022年度はトップページおよび個人投資家さま向けページを刷新し、内容を充実させました。また、IRサイトやニュースの更新情報をメールでお知らせする取り組みも行っています。なお、当社のWebサイトは「Gomez ESGサイトランキング2022」優秀企業に初めて選ばれるなど社外より高い評価をいただいています。



ESG指数への組み入れ

サステナビリティに配慮した経営や情報開示が評価され、2022年3月より「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」の構成銘柄に組み入れられています。



**FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index**

経営へのフィードバック

株主・投資家さまアンケート

会社説明会などにおいて投資家さまからご意見をいただいています。また、株主通信の送付時にアンケートを実施し、株主さまからいただいたご意見を中間株主通信で報告しています。2022年度は1,649名の株主さまからご回答をいただきました。

市場評価のフィードバック

IRイベントや株主通信のアンケート結果、および個別ミーティングで伺ったご意見などをレポートにまとめ、取締役会で随時報告を行っています。市場の評価を社内にフィードバックすることで、課題を浮き彫りにし、今後のIR活動の改善に努めています。

株主さまへの還元

利益配分に関する基本方針

当社は、株主のみなさまへの利益還元を経営の重要課題の一つと認識するとともに、継続性と配当性向を勘案して配当を決定することを基本方針としています。2022年度の年間配当金は1株当たり69円とさせていただきました(配当性向45.9%)。なお、当社は2022年5月に配当基本方針を改定し、連結配当性向30%に加え、予定必要資金の超過金額の3分の1を目途に配当として上乗せすることとしました。詳細については当社Webサイトをご覧ください。



<https://www.espec.co.jp/ir/stock/share.html>

■ 1株当たり配当金・連結配当性向



* 創業75周年記念配当 中間2円、期末2円を含む

社会貢献

社会とのコミュニケーション

トルコ・シリア地震の被災地支援に向けた寄付を実施

2023年2月に発生したトルコ・シリア地震の被災地の救援活動および復興支援に役立てていただくため、日本赤十字社大阪府支部にエスペックグループ会社および役員・社員からの災害義援金、総額119万1,600円を寄付しました。また2023年4月には、社員から集まった寄付金に会社が寄付金の上乗せを行うマッチングギフト制度「エスペックスマイルクラブ」を活用し、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと国境なき医師団日本に総額86万600円の寄付を行いました。



日本赤十字への災害義援金寄付風景

京都府福知山市への寄付に対して感謝状を拝受

2022年3月、防災対策および消防・救急体制強化への支援を目的に企業版ふるさと納税制度を活用し、当社のマザー工場がある京都府福知山市へ1,000万円の寄付を行いました。寄付金は、高度な救命処置が行える高規格救急自動車などの購入に活用されています。2023年2月、この寄付に対して福知山市長より感謝状を拝受しました。



福知山工場で行われた感謝状贈呈式

障がい者就労農園「エスペックスマイルファーム」の収穫野菜を子ども食堂に寄付

障がい者就労農園「エスペックスマイルファーム」で収穫した野菜を、農園がある大阪府枚方市の子ども食堂に定期的に寄付しています。2022年度は10回の寄付を行いました。野菜は、子どもたちに無料で提供される食事の食材として使われています。

大学生による気球打ち上げプロジェクトに協賛 当社受託試験所にて打ち上げ前の性能試験を支援

2022年9月に開催された愛媛県主催のイベント「えひめ宇宙フェスinなんよ」で行われた大学生による「えひめ南予共同気球実験」に協賛しました。「えひめ南予共同気球実験」は、全国の学生団体が成層圏へ小型気球を打ち上げ、さまざまな実験を行うものです。当社は3つの学生団体を支援し、当社の受託試験所にて、気球に搭載するバッテリーや電子機器類などの性能試験を行いました。

希少な植物が残る生物多様性豊かな草地の保全

エスペックミックは、2020年より市民団体「ふるさとの自然を愛するスズサイコの会」と連携し、河川改修工事で消失した生物多様性豊かな草地の復元・保全活動に取り組んでいます。愛知県犬山市を流れる新郷瀬川の土手には、絶滅が危惧されているスズサイコなどの希少植物が育つ半自然草地が残っています。この良質な草地を保全していくため、2022年6月に地域の方々と草を刈り取る除草会、11月にはエスペックミックが周辺草地で種子を採取し育てた野草の苗を植え付ける植栽会を行いました。こうした取り組みが評価され、エスペックミックは、2022年10月、愛知県の「あいち生物多様性企業認証企業」に認定されました。



愛知県犬山市で行った植栽会

